

## 遠心式濃縮機

① ② VC-15S/15SP

③ VC-36R

④ VC-96R

①  
②

③

④

## 低温トラップ

⑤ VA-250F

⑥ VA-500R

⑦ VA-800R

80cm

真空ポンプ

真空ポンプ

システム架台G型

システム架台C型



② VC-15SP 設置例 (および ⑤ アルミブロック恒温槽 ETB)  
静岡大学理学部 様

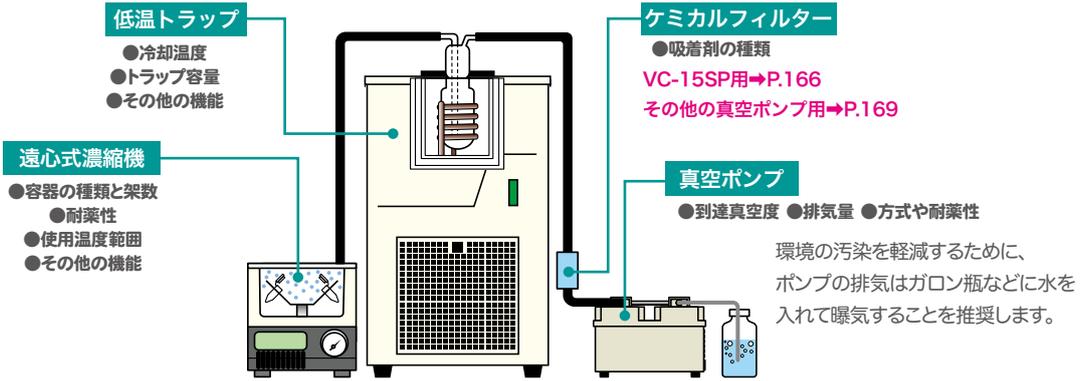


③ VC-36R および ⑤ VA-250F  
システム設置例



④ VC-96R ⑥ VA-500R システム設置例  
愛知医科大学医学部 様

システムの基本構成と各機器の選定要素



遠心式濃縮機

型名		VC-15S	VC-15SP	VC-36R	VC-96R
材質	チャンバー	SUS304テフロンコーティング			
	フタ	ガラス		PVC(*)	
	ローター	アルミニウム(アルマイト処理)			
耐薬性	水	○	○	○	○
	アルコール	○	○	○	○
	弱酸	○	○	○	○
	強酸(20%塩酸等)	○	△(内蔵ポンプ使用時)	△	△
	有機溶媒	○	○	○(*)	○(*)
	アルカリ	○	○	○	○
使用温度範囲		+55℃(固定)		室温+5℃~+70℃	

○:使用において基本的に問題なし ○:材質の劣化が経年変化によりやや目立つが使用可能 △:使用できなくもないが耐薬性が若干劣る  
 (\*)PVC製(ポリ塩化ビニル)のフタは、DMSOを遠心濃縮した際の付着を放置すると白濁化します。ご注意ください。

適用容器とローター	0.2mLマイクロチューブ		0.5mLマイクロチューブ		1.5/2mLマイクロチューブ		5.0mLマイクロチューブ	
	マイクロチューブ	32本or8連×4本(15A)	24本(15B)	12本(15A、15B) 20本(15C)	8本(36C)	40本(36A)	8本(36C)	96本(96A)
マイクロバイアル	HPLC用2mLマイクロバイアル	12本(15D)	32本(36A2)	48本(96A2)	12本(15D)	32本(36A2)	48本(96A2)	-
スピッツ管	φ10~12mmスピッツ管	-	16本(36B)	48本(96B)	-	16本(36B)	48本(96B)	-
	φ17.5~18mm試験管	-	-	36本(96D)	-	-	36本(96D)	-
	または15mLガラス遠沈管	-	-	※φ17.5~18mm	-	-	※φ17.5~18mm	-
	15mLデイスボ遠沈管	-	-	8本(36C)	36本(96C)	-	8本(36C)	36本(96C)
試験管/遠沈管	または相当する試験管	-	※φ17.5mm以下	※φ16.5~18mm	-	※φ17.5mm以下	※φ16.5~18mm	-
	15/50mLデイスボ遠沈管	-	6本+6本(36E)	8本+12本(96E)	-	6本+6本(36E)	8本+12本(96E)	-

真空ポンプ

遠心濃縮機のチャンバー内を減圧するために必要です。到達真空度だけでなく、排気量や耐薬性にも注目してお選びください。



型名	DTU-20	DTC-60	GLDシリーズ	GCDシリーズ	Q-1
方式	テフロンダイヤフラム式		油回転式		水流式アスピレーター
耐薬性	水、弱酸、有機溶媒		水	水、有機溶媒	水、アルコール系
到達真空度[Pa]	200	1000	0.67		水温による
排気量(50Hz時)	20L/min	60L/min	50または135L/min		6~7L/min
備考	低沸点溶媒 (~70℃以下目安)向け		高沸点溶媒向け		水温により 真空度が変化

低温トラップ

遠心式濃縮機によって蒸発させた溶媒が大気中に放出されたり、真空ポンプを壊さないよう、捕集する装置です。有機溶媒のみならず、水でも大量に濃縮する場合は必要です。真空度によって、同じ溶媒・温度でも捕集の可否が変わります。 →P.168



型名	VA-250F	VA-500R	VA-800R
適応する遠心式濃縮機	VC-15S/15SP、VC-36R/96R	VC-36R/96R	VC-36R/96R
冷却温度、トラップ容量	-45℃、約200mL/回	-75℃、約200mL/回	-70℃、約1000mL/回
備考	小容量・水系サンプル	小容量・一般サンプル	大容量・一般サンプル